

わが社のCOMIチャン災害情報システム提案

CATVで必要とされる あらゆる字幕・文字情報の 送出が可能

株式会社
ビジョン
ストリーム

http://www.
visionstream.co.jp/

多用途対応型テロップシステム「G2マルチテロッパー」

限られた制作・運用体制下でも 安心して運行ができる機能搭載

G2マルチテロッパー（以下G2）は、上下位置スーパー、L字スーパー、文字放送（全画面静止画）、タイムスーパー、ウォーターマークなど、テレビ放送で必要とされるあらゆる字幕情報の送出が可能なシステムである。送出する文字情報の入力や、運行スケジュールの登録などの操作を可能な限り簡略化し、多くのCATV局のような限られた制作・運用体制下でも、地域密着の有益情報を視聴者に届け、かつ安定して運行が行えるための機能を搭載している。

優れた便利機能と 安心の元長化構成

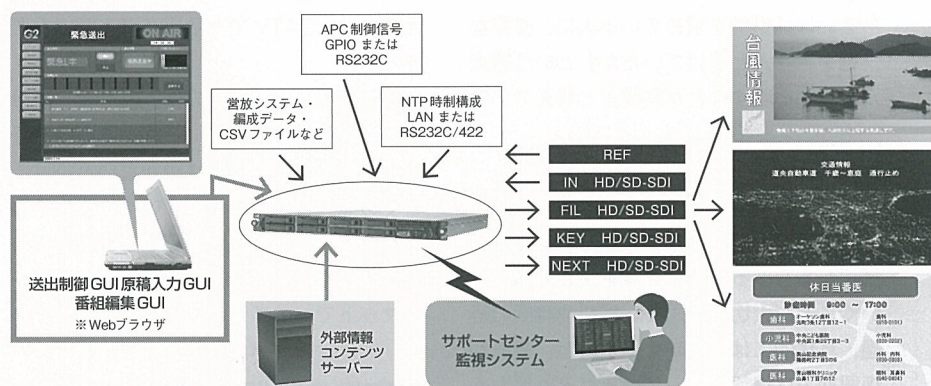
操作 GUI は Web アプリケーション形式を採用し、操作専用パソコンを必要としない構成にした。通常の業務で使用している手慣れたパソコンから、Web ブラウザで簡単に操作することが可能となっている。局内・局外のさまざまな場所からのアクセスが可能で、地域の各署関係機関に情報を入力してもらうなどの運用も想定した構造となっている。

また、緊急時には外部機関から入力された情報を送出トリガーとして、自動割り込み放送するという運用も可能である。

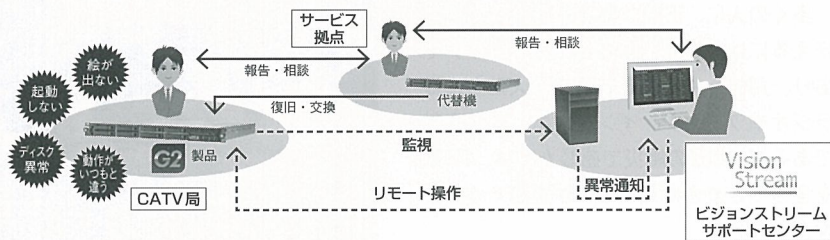
送出の画面デザインは情報の内容に合わせてスーパー、L字スーパー、文字放送などのレイアウトから選択し、多様な情報を視聴者にわかりやすく伝えることができる。

音声送出機能も充実している。画像送出に合わせての SE、BGM、原稿の読み上げ、複数音源合成が可能となっている。

運用系の特徴的な機能として、ネットワーク監視機能が搭載されている。G2の障



〔図1〕 運用イメージ



〔図2〕 システムのリモート監視と障害復旧

害を自動検知し、サポートセンターに通知され、障害発生から復旧までの時間を可能な限り短時間とした。

これらのさまざまな便利な機能の積み重ねが、通常時の放送から災害時の緊急放送に切り替わる時に、迅速かつ確実な運用シフトを可能とし、さらには視聴者へ有益な地域情報を伝えることに役立つものと確信している。

携帯電話やスマートフォンへも 情報提供が可能

当社では、スーパーや文字放送など本放送以外のメディアでも、同じ情報を発信することを課題としている。即時性のある情報を強制的に視聴者に見せる場合や、何度

も繰り返し流し続ける情報はスーパーが有効であるが、より詳しい情報を視聴者側が求める場合はデータ放送が有効である。また、被災地などではテレビ放送の視聴ができない場合もあり、この場合は携帯電話やスマートフォンなどへの情報発信が有効である。

CATV局に集まる膨大な被災情報を、これら複数メディアに発信する必要がある。G2では、データ放送装置やWebサーバ、行政機関の防災情報システムなどとの連携制御に柔軟な対応ができる仕組みとなっている。

先の震災を教訓に、他の装置メーカーや自治体と連携しながら有効な情報発信システムの構築が急務であると当社では考えている。

■お問い合わせ先 TEL: 011-598-9501 メール: otoiawase@visionstream.co.jp